



さきばる

さいごまで さいあいをいれて ねほりづよく がんばる子ども の育成

2月21日(金)

「親子読書の日」

親子で本に親しみ、本を通じて親子が共有する時間を持ちましょう。

真面目にふざけてみませんか...

校長 長崎 克則

虫取り網をかまえ、ポーズをとる全身緑色のバッタ男。この写真が表紙に使われている本が「バッタを倒しにアフリカへ」(光文社:前野ウルド浩太郎 著)である。



イラストは【中2】村田優佳さんに描いてもらいました!!

前野氏はれっきとした博士、それも世界の第一線で活躍する「バッタ博士」である。モーリタニアにある研究所の所長に「バッタ研究に人生を捧げ、アフリカを救う。」と宣言し、「ウルド」というミドルネームまで授けられている。「ウルド」というのは「?の子孫」という意味である。

前野氏が研究の対象にしているのはサバクトビバッタ。このバッタは、アフリカの半砂漠地帯に生息し、ひとたび大発生が起こると、群れは数百億匹にも達し、東京都ほどの面積がバッタに覆われてしまうという。西アフリカだけで、年間被害総額は400億円以上になり、アフリカにおける深刻な貧困の一因となっていることはよく知られているだろう。まさに「バッタ研究によりバッタの駆除が成功すれば、アフリカを救うことができるのである。」

しかし、研究には様々な逆風が発生する。言葉や習慣・考え方の違いから発生する様々な問題や資金(研究費)の期限切れ(打ち切り)、さらには、異気象のため最も重要なバッタの発生に遭遇できないという不運も…。前野氏は、それらのハプニングに翻弄されながらも、一つ一つ解決しながら前進していくのである。前野氏の武器といえば情熱と人柄そのものである。それでも、この話にある種の爽やかさを感じるのは、不遇に陥っていても、ほやきながらも人や周囲のせいせず、自力で対策を講じ、むしろ困難を克服することを楽しんでいるように思えるところである。

『トム・ソーヤの冒険』の冒頭部分、ポリーおばさんからペンキ塗りを命じられたトムが、一計を案じ、口笛を吹きながら、さも楽しいことをやっているように振舞う場面がある。その結果、トムはその日の午後には、村の子どもたちからたくさんの宝物をまきあげた上に、ペンキ塗りを終わらせてしまうエピソードがある。これは、トム小年の機知と交渉力の豊かさを示唆するエピソードとなっている。しかし、作者のマーク・トゥエインが、労働と趣味、受動と能動の本質を知った上で、主人公にこのよう行動させたのではないだろうか。

前野氏の奮闘ぶりが、なんだか「トムソーヤのペンキ塗り」に思えてきてしまうのだ。前野氏は、バッタ研究の重要性を世界的に認知してもらうために、自ら有名になることを決意する。そうすることで、バッタ問題の認知も広がり、結果としてバッタ研究で食べていくことができるようになること考えたのだ。事実、このようなPR作戦のおかげで前野氏の研究も加速していくことになる。また、地道な努力も欠かさず、京都大学の「白眉プロジェクト・センター」採用という幸運を手にし、現在は国際農林水産業研究センターの研究員として従事している。つまり、念願だった昆虫学者として、ちゃんと成功しているのだ。

軽妙でユーモラスな文章・テンポのよい構成で読者を引きつけてはいるが、前野氏の言動の根底には「絶対に昆虫学者として食べていく。」という目標に対する真摯な姿勢があることが伝わってくる。だから、彼は真面目にふざけているのだ。そして、遠いアフリカの地で人生を懸けて全力でバッタを追いかけている若者がいる。同じ時代に、こんな研究者がいることを知るだけで、なんだか元気になってくる。



特認校生を募集しています!

崎原小中学校は奄美市の小規模校入学特別認可校の指定を受けています。

この制度は、豊富な自然環境に恵まれた小規模校の特性を生かし、心身の健康増進・体力づくりとともに、自然に触れあう中で学ぶ楽しさと、豊かな人間性を育ませたいと希望する保護者や幼児・児童・生徒のみなさんに、一定の条件の下で、特別に入学(転学)を認める制度です。

現在、令和2年度の希望者を対象にした面談等が進んでいますが、特に以下の学年において追加申込みをお待ちしています!!

小学生⇒新1年生・新2年生
中学生⇒新1年生

児童生徒の受賞 ～ 光り輝け 崎原っ子 ～

【読書感想文コンクール鹿児島県審査会】 入選 辺木颯太(中2)

食育指導 ～ 食の大切さを学ぶ ～

1月20日～24日は「かごしまをまるごと味わう学校給食週間」ということで、学校でも食に関する様々な取組を行いました。1月22日(水)には、奄美市学校給食センター栄養教諭の竹下奈央子先生をお招きし、「食に関する指導」を行いました。小2～4年生は、「みんなが気持ちよくなる食事」ということで、食事のマナーや箸の正しい持ち方について実践を交えながら学習しました。ティッシュを一生懸命はさむ子どもたちの姿はとても可愛らしかったです。小5・6年生は、お菓子袋の成分表示を見ながら、「おやつを取り方」について学びました。炭酸飲料に含まれている砂糖の量を目の当たりにした子供たちのびっくりしている様子が印象的でした。中学生は、給食センターの中の様子を含め、「給食が学校に届くまでの流れ」について説明していただき、改めて「食への感謝の気持ち」を育む大切な時間となりました。また、栄養バランスの大切さや体に及ぼす影響等、専門的な立場からも指導していただき、充実した食育指導となりました。



桜並木が続く 崎原歩こう会へ

令和2年2月2日(日) 9:00～(雨天決行)
崎原小中学校スタート(往復約7.8km)
参加費:300円(保険代を含む)
未就学児無料
主催:崎原活性化委員会・崎原子ども会

★ お申し込みは、当日受付となります。
受付時間(8:15～8:50)
開会行事 9:00～ 閉会行事 12:00～
★ 「まごころ豚汁(一人一杯)」のサービスがあります。
★ 飲み物は、各自、持参下さい。
★ ウォーキング終了後、崎原小中学校が作った「炭」を販売します。(1袋500g程度 数量限り)
★ 心が癒される1日を通しましょう!

お問い合わせ
崎原小中学校
☎ 0997-52-9900
FAX 0997-53-2628

2月の行事予定

- 2/ 2 (日) 崎原歩こう会
- 2/ 4 (火) 公立高校推薦入学者選抜
- 2/ 8 (土) 土曜授業
- 2/10 (月) 学年末テスト(中学校)
- 2/12 (水) 学年末テスト(中学校)
- 2/13 (木) 学年末テスト(中学校)
- 2/14 (金) 卒業生を送る会/お別れ遠足
- 2/16 (日) 市民清掃日
- 2/21 (金) 親子読書の日
- 2/23 (日) 市まなび・福祉フェスタ
- 2/27 (木) 学級PTA(小,中1・2)